禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

B78

「中央職業能力開発協会編」

令和５年度 技能検定
２級 サッシ施工 学科試験問題
（ビル用サッシ施工作業）

1. 試験時間　1時間40分
2. 問題数　50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
   （1） 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   （2） 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   （3） 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   （4） 試験開始の合図で始めてください。
   （5） 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ. A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ. 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   （6） 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   （7） 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   （8） 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   （9） 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法）］

1　サッシ取付け用部材がサッシ本体と同時に搬入された場合、サッシ本体の寸法、数量等に誤りがなければ、部材の点検は行わずに保管してもよい。

2　アルマイト仕上げのサッシ表面汚れを落とすには、まず水又は温湯で様子を見て、落ちない場合は0.5～1%の中性洗剤水溶液を用いるとよい。

3　サッシを段窓とする場合の接合材には、方立を使用する。

4　サッシのPC(プレキャストコンクリート)打込み工法では、一般に、スイングサッシの障子は、現場吊込みとする。

5　ねじの加工に使用するハンドタップは、おねじを切る工具である。

6　フラックスとは、アーク溶接棒の被覆材をいう。

7　皿小ねじの呼び長さとは、皿頭を除いた首下の長さをいう。

8　サッシを立て掛けて保管する場合、床とサッシの立て掛け角度は、75°程度とする。

9　アルミニウム合金製サッシの表面にモルタルが付着した場合は、モルタルが固まってから除去するとよい。

10　建設工事現場で使用する朝顔とは、工事中に外部への落下物を防ぐために足場の外側面にはね出して設ける落下防止設備のことをいう。

11　日本産業規格(JIS)によれば、熱線反射ガラスは、日射熱の遮蔽を主目的としている。

12　サッシの開閉方法において、フィックス窓は、必ずスライディングに分類される。

13　内倒し窓とは、障子の下かまちと下枠を丁番で継ぎ、障子が内側に開くようにした窓をいう。

14　日本産業規格(JIS)によれば、サッシに用いる付属部品は、取替え又は補修が可能な構造とする。

15　アルミニウムは、アルカリ性物質に対して耐食性が良い。

16　親子開きドアは、両開きドアに含まれない。

17　アルミニウムの比重は、鉄の比重よりも小さい。

［A群（真偽法）］

18　日本産業規格(JIS)に定める材料の種類の記号のSS400は、一般構造用圧延鋼材の一つである。

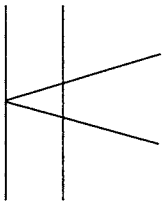
19　閉鎖順位調整器は、防犯を目的とした金物である。

20　バランサーは、上げ下げ窓の付属金物として使用される。

21　枠組壁構法(ツーバイフォー構法)は、木造構法の一種である。

22　陸(ろく)屋根は、水平又は勾配が極めて小さい屋根のことである。

23　墨出し記号のにじり印において、次図は、右の線が正しいことを示している。



24　建築基準法関係法令によれば、排煙口に設ける手動開放装置のうち、手で操作する部分を壁に設ける場合は、床面から80cm以上、1.5m以下の高さとすることとされている。

25　労働安全衛生法関係法令によれば、キンクしたワイヤロープは、クレーンの玉掛け用具として使用してはならないとされている。

［B群（多肢択一法）］

1　文中の(　　)内に当てはまる語句として、正しいものはどれか。

建築工事標準仕様書(JASS)によれば、施工管理には、その任務に必要な能力、資格を有する管理者を選定し、(　　)に報告する。

イ　設計者
ロ　建築主
ハ　総合工事業者監督員
ニ　監理者

2　サッシ関連部材と関連工事との組合せとして、適切でないものはどれか。

	部材		工事
イ	額縁	・・・・・・	内装仕上げ工事
ロ	ボーダー	・・・・	軒天井工事
ハ	笠木	・・・・・・	パラペット工事
ニ	フラッシング	・・	ガラス工事

3　次の付属金物のうち、自動閉鎖装置でないものはどれか。

イ　ドアクローザー
ロ　トップラッチ
ハ　オートヒンジ
ニ　フロアヒンジ

4　サッシ及びドアの取付け工事に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　湿式工法では、溶接部のスラグを取り除く必要はない。
ロ　枠のアンカー溶接は、一般に、φ9mmの鉄筋を用いて緊結する。
ハ　乾式工法では、溶接固定した後、さび止め塗料を塗布する。
ニ　アンカーピッチは、一般に、400～500mm程度とする。

5　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

日本産業規格(JIS)によれば、十字ねじ回しは、本体と握り部との接合方法により、普通形と(　　)形に区分されている。

イ　特殊
ロ　強力
ハ　精密
ニ　貫通

6　次の工具のうち、研削に適しているものはどれか。

イ　ハンマドリル
ロ　ディスクグラインダ
ハ　ジグソー
ニ　インパクトレンチ

［B群（多肢択一法）］

7　シーリング工事のプライマー塗布の目的として、適切でないものはどれか。
　イ　シーリング材の硬化を早める。
　ロ　表面強度の脆弱な被着体の表面層を強化する。
　ハ　多孔質物質の内部からシーリング材接着面への水、アルカリ性物質などの浸出を防止する。
　ニ　シーリング材と被着体間の接着性を向上させる。

8　シーリング工事にバックアップ材を使用する目的として、適切なものはどれか。
　イ　接着力の向上
　ロ　目地幅の調整
　ハ　充てん深さの調整
　ニ　2面接着の防止

9　サッシの保管場所として、適切でないものはどれか。
　イ　通気が良く、湿気のない場所。
　ロ　他作業によって、移動されるおそれがない場所。
　ハ　製品に直射日光が当たる場所。
　ニ　落下物等による損傷のおそれのない場所。

10　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。
　労働安全衛生法関係法令によれば、事業者は、ゴンドラについて、(　　)以内ごとに一回、定期自主検査を行なわなければならないとされている。
　イ　1か月
　ロ　3か月
　ハ　6か月
　ニ　12か月

11　断熱性が最も優れているガラスとして、適切なものはどれか。
　イ　強化ガラス
　ロ　複層ガラス
　ハ　フロート板ガラス
　ニ　型板ガラス

12　障子の水平方向を軸として、回転しながら開閉するサッシはどれか。
　イ　横軸回転窓
　ロ　縦軸回転窓
　ハ　縦すべり出し窓
　ニ　引違い窓

［B群（多肢択一法）］

13　日本産業規格(JIS)におけるサッシ用語として、適切でないものはどれか。

イ　スイングとは、主に枠の面外に戸が移動する開閉形式をいう。

ロ　スライディングとは、主に枠の面内を戸が移動する開閉形式をいう。

ハ　戸とは、サッシ等の可動部分で、扉、障子等の総称をいう。

ニ　二重サッシとは、一重サッシとして設計、製作されたものを現場取付けで、二重にしたものをいう。

14　日本産業規格(JIS)によれば、サッシの気密性能の等級において、気密性の高いものはどれか。

イ　A-1

ロ　A-2

ハ　A-3

ニ　A-4

15　日本産業規格(JIS)によれば、サッシの性能項目として、適切でないものはどれか。

イ　耐風圧性

ロ　水密性

ハ　耐震性

ニ　気密性

16　日本産業規格(JIS)によれば、サッシの可動部分の戸・障子について、円滑に作動する開閉力の載荷荷重として、適切なものはどれか。

イ　20N

ロ　50N

ハ　80N

ニ　110N

17　文中の(　　)内に当てはまる数値として、適切なものはどれか。

アルミニウムの融点は、1気圧で、約(　　)℃である。

イ　360

ロ　560

ハ　660

ニ　860

18　両開きドアで錠の付かない側の戸に取り付けるフランス落としの数として、適切なものはどれか。

イ　1個

ロ　2個

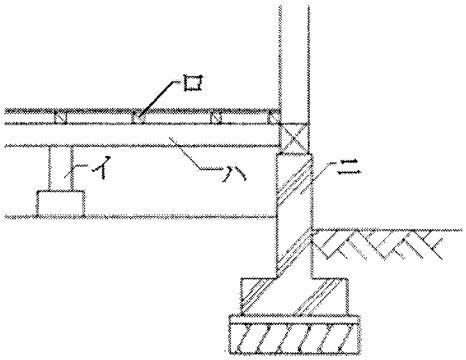
ハ　3個

ニ　4個

［B群（多肢択一法）］

19　次のうち、SRC造と呼ばれる建築構造はどれか。
　イ　鉄骨鉄筋コンクリート構造
　ロ　鉄筋コンクリート構造
　ハ　鉄骨構造
　ニ　コンクリートブロック構造

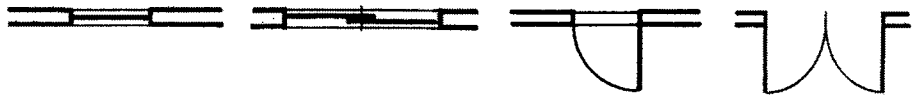
20　次図のうち、根太はどれか。



21　サッシ施工図において、姿図に含まれているものはどれか。
　イ　作業順序
　ロ　作業方法
　ハ　搬入経路
　ニ　製品の数量

22　建築図面において、GLと表示されるものはどれか。
　イ　通り心
　ロ　各階床面
　ハ　建物の最高高さ
　ニ　地盤面

23　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、「引違い窓」を表す平面表示記号はどれか。



イ　　ロ　　ハ　　ニ

24　建設業法関係法令によれば、建設業許可の有効期間として、正しいものはどれか。
　イ　2年
　ロ　3年
　ハ　5年
　ニ　10年

［B群（多肢択一法）］

25　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、墜落の危険のある箇所に設ける手すり等の高さは、(　　)cm以上とされている。

イ　70

ロ　75

ハ　80

ニ　85